

**重点課題**

【課題1】 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことができる。(正答率 38.1%) 選んだ文の番号を①と誤って解答している児童が23.8%。

【課題2】 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことができる。(正答率 19.0%) 2つの条件のうち1つの条件(後半部分に出てくるもの)を書いていない児童が33.3%。

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)**

【課題1】 「書く活動」の学習時だけでなく様々な場面で、自分の書いた文章を、文の中での語句の役割や、語句相互の関係に気をつけて読み返す活動を取り入れ、相手や目的に応じ、伝えたいことが伝わるような文章が書けるようにしていく。

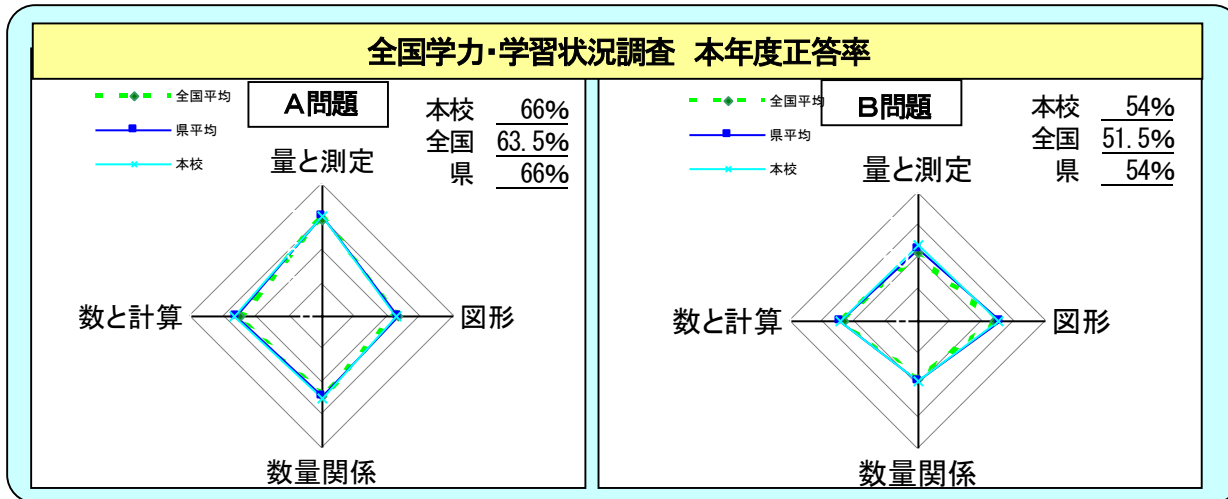
【課題2】 明確に伝えるためには事例を挙げて具体的に説明することが有効であることを理解させ、事例を挙げて詳しく書くこと(キーワードを見つける→キーワードを関係付けて整理し、文章を組み立てる)の学習をする。相手に伝わるかどうかという観点で、再度検討したり、友達と相互に吟味し合ったりする活動を取り入れる。

※ 小中一貫した取組については、多様な情報から必要なものを読み取り、条件に合った叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめて書く活動に重点を置く。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	4・5年生 文の構成テスト			4・5年生 「書くこと」テスト	3・4・5・6年生 標準学力検査CRT		4・5年生 「書くこと」テスト
目標値	80%			80%	70%		80%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			6年生 H30 全国学力		3・4・5・6年生 標準学力検査CRT	5年生 H30 全国学力	4・5年生 学年末テスト
目標値			60%		70%	50%	80%
実施後数値							

**来年度に向けて**



**重点課題**

【課題1】 分度器の目盛りを読み、 $180^\circ$  よりも大きい角の大きさを求める。  
(設問5 (2)) 量と測定  
(平均正答率57.1%)  $110^\circ$  と誤って回答している児童が23.8%

【課題2】 日常生活の事象を図形の構成要素や性質を基に観察し、図形を判断したり、事柄が成り立つことを論理的に考察し、数学的に表現したりすることができる。(設問1 (1)) 図形  
(平均正答率61.9%) 正六角形と誤って回答している児童が19.0%

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)**

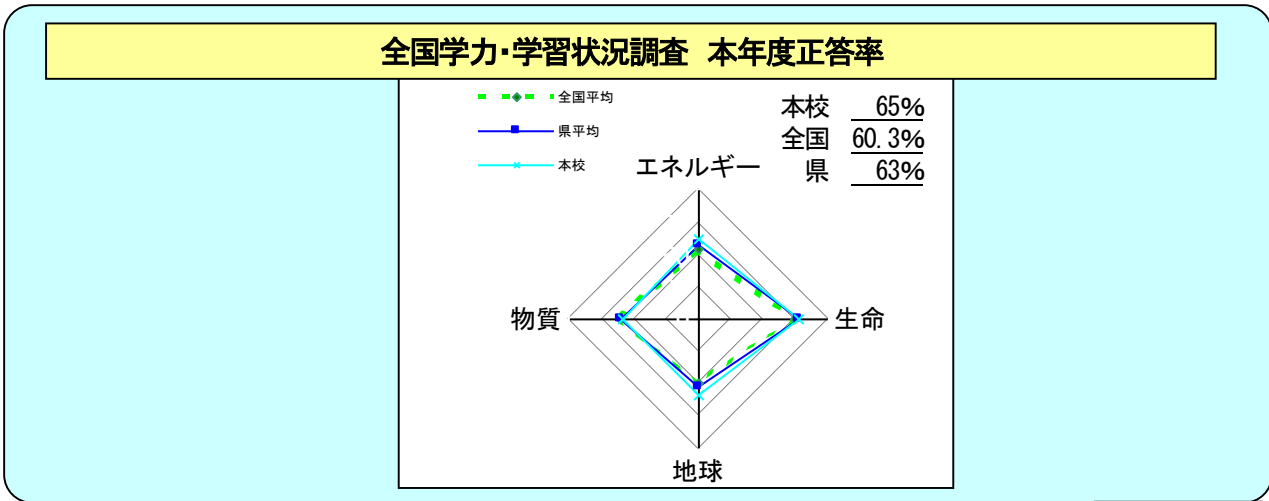
【課題1】・ 第4学年「角とその大きさ」では、回転角のイメージ化を図る活動や分度器でかいたり測ったりする算数的活動を通して、動的な角の意味を拡張できるようにする。また、角の測定や作図では、まず、見当付けを行い、その後、説明する活動を取り入れて定着を図っていく。

【課題2】・ 第2学年以上の様々な図形を敷き詰める算数的活動を通して、図形についての見方や感覚を豊かにし、図形の構成要素や性質を基に論理的に考察し説明する活動を取り入れる。また、図形についての実感的な理解を深めるために、日常生活の事象から図形に着目して観察する場を設ける。

※ 小中一貫した取組については、単位に注目して数量の関係をとらえ、図・グラフ・表・式等の数学的表現を利用して、自分の考えをまとめて書く活動に重点を置く。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	4年生 図形テスト		6年生 H30 全国学力	4・5・6年生 学期末テスト (量と測定領域)	3・4・5・6年 標準学力検査 CRT	5年生 H30 全国学力	4・5・6年生 学年末テスト (量と測定領域)
目標値	80%		75%	80%	70%	60%	80%
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	4・5年生 図形テスト		6年生 H30 全国学力	2・3年生 学期末テスト (図形領域)	3・4・5・6年 標準学力検査 CRT	5年生 H30 全国学力	2・3・4・5・6年生 学年末テスト (図形領域)
目標値	80%		75%	80%	70%	60%	80%
実施後数値							

**来年度に向けて**



**重点課題**

【課題1】 より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述することに課題がある。(設問2(3)) B区分地球(平均正答率38.1%)川の外側だけがけずられると誤って回答し、記述の内容が不十分な児童が28.3%

【課題2】 物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用することに課題がある。(設問4(3)) (平均正答率23.8%)食塩を溶かした後の水の重さである40.8gと誤答している児童が33.3%

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)**

【課題1】 実験の予想の段階で多様な意見を取り上げ、それらを確かめるために発想した解決の方法で実験を行う。分析結果を根拠や理由を示しながら自分の力でまとめて記述させ、伝え合う活動に重点を置く。それぞれの単元の終わりに、「理由を読み取ったり、記述したりする問題」を設定し、習得した知識を活用する力を伸ばす。

【課題2】 実際に重さをはかって定量的な見方を働かせることができるように実験・観察の時間を十分に保証する。また、実験の予想や結果を絵や図等を用いて表現させる等、質的・実体的な見方を意識することに重点を置いた指導を行う。

※ 小中一貫した取組については、多様な情報から必要なものを読み取り、事象について、理由・根拠等を、科学的用語を用いて書く活動に重点を置く。

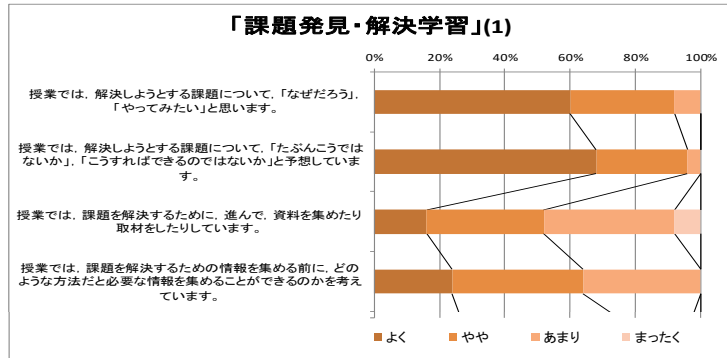
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			6年生H30「全国学力」(生命・地球)	5年生復習テスト	4年生「基礎基本」(生命・地球)	5年生H30「全国学力」(生命・地球)	4・5・6年生理科学年末テスト(生命・地球)
目標値			70.0%	70.0%	60.0%	60.0%	80.0%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			6年生H30「全国学力」(生命・地球)	5年生復習テスト	4年生「基礎基本」(物質・エネルギー)	5年生H30「全国学力」(物質・エネルギー)	4・5・6年生理科学年末テスト(物質・エネルギー)
目標値			70.0%	70.0%	60.0%	60.0%	80.0%
実施後数値							

**来年度に向けて**

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

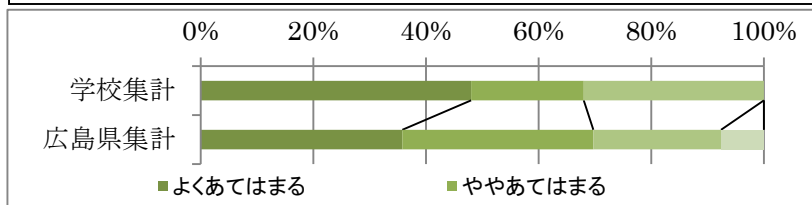
(1) 生活・学習



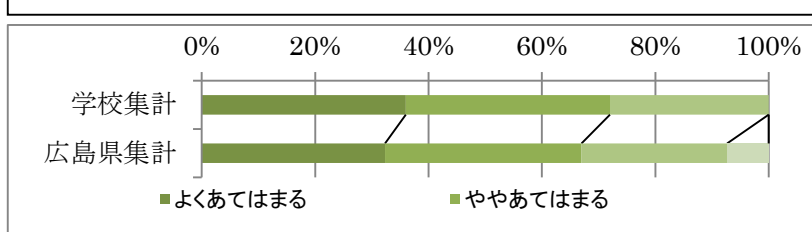
	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	「授業では、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。」に肯定的な回答をしている児童52%	総合的な学習の時間を中心に、課題解決のための、多様な情報収集の方法を学ぶ場を設定し、適切な資料の集め方や効果的なまとめ方を指導する。	5	60%	児童アンケート	1月		
全国	「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。」に肯定的な回答をしている児童61.9%	毎日ノートを活用し、1日の生活リズムを整え、学習の計画を立て、計画通り学習できたか振り返りを評価することで、計画的に学習する習慣をつけていく。	6	80%	児童アンケート	1月		

(2) 教科

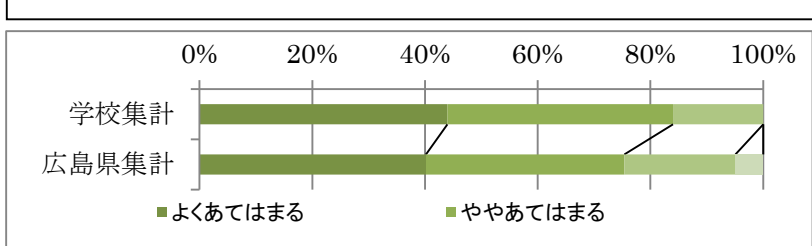
国語の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。



算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、観察や実験の結果をノートやグラフ、表などに記録したり記述したりする方法について学んでいます。



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本 「国語の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。」に肯定的な回答をしている児童68%	国語科で身に付けた力を活かせるような教科横断的な学習を仕組む。国語の授業以外に、文章を書く際に、一番伝えたいことは何かを意識させ、構成を考えて書いたり、相手の意図を考えて話を聞いたりする経験を重ねる。	5	80%	児童アンケート	1月		
算数	基礎・基本 「算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。」に肯定的な回答をしている児童72%	とき方や考え方をペアで伝え合う場を設定する。分かりやすい友達の説明の仕方をまねる経験を重ね、理由をあげた説明の仕方を学ぶようにさせる。	5	80%	児童アンケート	1月		
	全国 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか。」に肯定的な回答をしている児童81%	児童が解決したくなる学習課題を設定し、解決できた実感を味わわせ、新しい問題にチャレンジしようという意識を高めていく。	6	90%	児童アンケート	1月		
理科	基礎・基本 「理科の授業では、観察や実験の結果をノートやグラフ、表などに記録したり記述したりする方法について学んでいます。」に肯定的な回答をしている児童84%	観察や実験結果をまとめる際に、グラフや表を活用するなど具体的な方法を示し、まとめさせる。まとめ方の例を提示し、児童が参考にして、ノートにまとめることができるようにする。	5	90%	児童アンケート	1月		
	全国 「理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか。」に肯定的な回答をしている児童71.4%	理科の授業でも、自分の考えをペアで伝え合う場を設定し、相手意識をもって説明するようにさせる。	6	80%	児童アンケート	1月		